

# 茨城の教育

茨城県高等学校  
教職員組合  
水戸市平須町 1-93  
Tel. 029-305-3075  
Fax 029-305-3317  
iba-kou@mito.ne.jp

## 教育条件の改善を！

### 財務課等と交渉しました

毎年、来年度予算の編成がスタートする9月に向けて、7月に「教育条件等に関する要求書(全体的なものと同職場からのもの)」を県教育委員会に提出し、文書回答があった後に交渉を行ってきました。今年度は県教委から高校教育課・特別支援教育課・財務課・保健体育課など14人が出席しました。主な内容を紹介します。

### 長寿命化改修に 取り組む

**組合** 大幅に予算を増額し、老朽化している校舎等の改修・整備を計画的に進めること。

**財務課** 「施設の改修については、各学校からの要望を基に毎年ヒアリングを実施し、限られた予算の中で、緊急性、重要性を勘案して予算配分しているところである。学校施設の耐震化が完了したことから、今後は、県全体の方針を踏まえながら学校施設の長寿命化改修に係る計画を策定し、予算要求をしてまいりたい。」(「」内は文書による回答。以下同じ)

改築は財政的に不可能なので、予防保全で行くということです。現在基準を作成中。個別計画は平成32年度までに策定予定とのことです。



## 学校予算の 大幅な増額を！

**組合** 教育活動に必要な備品・消耗品の購入に支障が生じないように学校予算を大幅に増額すること。

**財務課** 「厳しい財政状況の中、学校運営費の増額は困難な状況である。そのため、限られた予算をより各学校の実情に応じ、有効に活用できるよう、運営費の予算編成は校長裁量としているところである」

《裏面に続く》》

## 学校予算はこの3年間増減なし

今年度の高校全体の学校予算は、44億8千万円で、この3年間はほぼ同額で推移しています。特別支援学校も今年度は6億5千万円で、この3年間はほぼ同額で推移しています。各学校への配分も減ってはいないようです。予算委員会等で校内の要望をもとに、きちんとした執行計画を作成することが大切です。財務課は3月と8月、12月に予算執行計画の提出を求めています。なお、高額備品については別枠で予算要望を集め、各学校に配分しています。

## 教育署名に協力を

### 教育格差をなくし、子どもたちにゆき届いた教育を求めます

20年以上前から毎年、茨城県議会と衆議院・参議院宛に「すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」を、みなさんの署名をそえて提出してきました。その結果、国は2011年度から小学校1年生の35人学級を導入しました。その後、自公政権に戻って35人学級はストップしてしまいましたが、本県においては、2014年度から順次小学校全学年及び中学校2年生で茨城方式の少人数学級を実施しています。

子どもたち一人ひとりに確かな基礎学力をつけ、豊かな人間関係を育むためには、何よりもゆとりある学習環境、教育条件の整備が必要です。このような観点から次のような内容で請願署名活動を進めますので、ご協力をお願いします。

#### 《衆議院議長・参議院議長宛の請願の主な内容》

- 1 教育予算をOECD諸国並みに計画的・段階的に増やし、ゆきとどいた教育条件の整備を進めてください。
- 2 国の責任で小・中学校、高等学校の35人以下学級を一刻も早く実現してください。また、幼稚園や特別支援学級・学校の学級編成の標準の引き下げを進めてください。
- 3 教育費の保護者負担を軽減して教育の無償化を進めてください。
- 4 公立・私立とも豊かな環境で学べるよう、教育条件や施設の改善を進めて下さい。

#### 《茨城県議会議長宛の請願の主な内容》

- 1 小学校、中学校、高等学校の30人以下学級を早期に実現してください。
- 2 小学校、中学校、高等学校の統廃合を行わないでください。
- 3 教育費の父母負担軽減、私学助成を増額するなど、教育予算を大幅に増やして下さい。
- 4 夜間定時制高校、フレックススクールの教育条件(教員の加配、学校予算の増額など)を充実してください。

### 高校でも少人数教育を研究する

**高教課** 「高大接続改革や新学習指導要領に適切に対応するため、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成が大きな課題となり、よりきめ細かな指導が求められるので、少人数教育をどのような形で取り組むべきか研究していく」

少人数学級も含めて研究するという事です。新記事にも強く要求します。

### カウンセラー・ソーシャルワーカーの手厚い配置を

**組合** 生徒や学校の実態を考慮し、各学校の要望を踏まえてスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを手厚く配置すること。

**高教課** 「スクールカウンセラーの配置やスクールソーシャルワーカーの派遣については、各学校からの要望を基に、学校や生徒の実状を踏まえ配置・派遣して

いる。今後も子どもたちの不安や悩みの解消を図る等、学校の要望を踏まえて、事業を継続できるように鋭意努めていく」

スクールソーシャルワーカーは「かなりの効果をあげている」と考えているとのこと。200時間分の予算を確保しており、昨年度と同じペースで活用されているそうです。積極的に派遣を要請しましょう。

### 高額な備品は財務課に要望を

各職場の組合から、「危険個所の修繕」「円盤投げサークルの囲いの設置」「特別教室へのエアコン設置」「テニスコート改修」「女子トイレ増設」「生徒用椅子の交換」「セミナーハウスのボイラー交換」「体育館出入口の鉄扉改修、体育館放送設備の改修」「教室パソコンとプロジェクターの保守管理と更新」「運動場の修復」「体育館の雨漏り改修」「洋式トイレの設置」「業務用パソコン不足の解消」「エアコンの更新」などの要求が出されました。 ↗

↘ **財務課** 「施設・設備の改修は各学校からの要望をもとに毎年(6・7月)にヒアリングを実施し、限られた財源の中で、緊急性、重要性を勘案して予算配分を検討していく」

「各学校の運営費予算で対応できない高額な備品等は、毎年度依頼している高額備品等の購入希望調査への回答に基づいて、財務課において学校間の均衡や備品購入等の緊急性、重要性を勘案し、予算の範囲内で採択している」

まずは学校内で相談して財務課に要望を提出してもらいたいということです。例えば、特別教室のエアコンは、校長から協議があれば、対応を検討することです。業務用パソコンの不足台数が多い学校(特に特別支援学校)には、財務課が3か年計画で整備を支援します。プロジェクターは要望すれば高額備品購入で対応可能です。

## 恐怖あおらず対話を



### 北朝鮮 核・ミサイル問題

北朝鮮の核・ミサイル開発は世界に対する脅威であり、決して許せることではありませんが、朝鮮半島での軍事力行使は北朝鮮が保有する数百発のミサイルの射程に入っている日本にとって悲劇的な結果を引き起こします。北朝鮮が暴走している今だからこそ、その狙いを正しく読み取り、「圧力」と共に「対話」への道を探って、東アジアの安全保障問題を解決することが肝要ではないでしょうか。

北朝鮮が発射した弾道ミサイルが日本の上空を通過し、政府はJアラートを発令して北海道・東北・北関東・信越の各県に避難を呼びかけました。そのため鉄道の運行停止、学校の始業時間繰り下げ、気を取られての交通事故など生活が乱されました。しかし、ミサイルは「日本上空」と言っても高度500\*の宇宙空間を飛行し日本に危険はありませんでしたので、「政府やメディアが不安や恐怖を煽り過ぎている」という声も聞かれました。県南地域では、「千葉や埼玉、東京では避難の呼びかけはなかったんだけど、どうして茨城？」という疑問も出ていました。

このような中、下館一高や下妻二高などはグアムへの修学旅行を中止しました。日本政府がすべきことは、いたづらに国民の恐怖を煽るのではなく、軍事力行使をちらつかせるアメリカに追随するのでもなく、ヨーロッパの国々など世界の知恵を借りながら、時に15年前の小泉首相のような決断をしつつ、国民の安全・安心させるために「対話」への道を切り開くことではないでしょうか。

### 丁寧に説明する は どこへ?

北朝鮮への不安を煽り、「断固とした対応」だけを繰り返して、「丁寧に説明する」はどこ吹く風、臨時国会での追及を避けるため？に衆議院の解散を言い出した安倍首相。せつかく打ち出した「人づくり革命」はどうする？解散の「大義」は？国民は眼中にない？党利党略、私利私欲？

## 特別支援学校の過大・過密の解消を！

教室不足の学校(5以上、多い順)

学校名	保有教室	必要教室	不足教室	転用教室
つくば	66	94	28	調理室等
鹿島	39	54	15	調理室等
友部	23	36	13	会議室等
水戸飯富	31	44	13	更衣室等
伊那	31	44	13	印刷室
協和	25	36	11	窯業室等
土浦	32	42	10	技術室等
勝田	31	40	9	被服室等
水戸	32	38	6	相談室等
境	44	48	4	音楽室等

この表は特別支援教育課がまとめた「今年度の不足教室一覧」から作成したものです。この表



以外の不足教室数(北茨城3、大子1、下妻1、結城2)を合計すると県全体で129もの教室が不足しています。県は「第2期特別支援学校整備計画」を策定し、石岡市八郷地区に新設しますが、とりわけ大規模校のつくば特別支援学校の過大・過密に対応できる計画ではありません。

全国的にこの10年間で特別支援学校の在籍者は、1.4倍になっているのにもかかわらず、学校建設がすすんでいません。特別

支援学校だけに「設置基準」がないことが大きな原因です。私たちは、「設置基準」の制定を求める署名運動を行ってきました。